
第 32 回犬山シンポジウム

プログラム

日 時 : 2018 年 8 月 2 日 (木) 13:00 ~ 3 日 (金) 12:00

場 所 : 名鉄犬山ホテル 6 階 「シャトー」

愛知県犬山市犬山北古券 107-1

TEL : 0568-61-2211 FAX : 0568-62-5750

会 費 : 3,000 円

共 催 : 犬山シンポジウム

公益財団法人ウイルス肝炎研究財団

エーザイ株式会社

積水メディカル株式会社

【会場について】



- 名古屋駅より 名鉄特急で犬山駅まで 25 分 ~ タクシー 7 分
中部国際空港より 名鉄特急で犬山駅まで 60 分 ~ タクシー 7 分
小牧空港より タクシー約 35 分 (距離 20 km・一部高速道路使用)

【発表時間について】

演 題 : 発表 10 分、質疑 5 分

特別講演 : 発表 25 分、質疑 5 分

【その他】

立食による情報交換会の他、8月2日、3日のお昼は軽食を準備しております。

なお、国公立等の施設にご所属の先生方におかれましては、事前にご所属施設の規則をご確認の上、ご対応いただきますようお願い申し上げます。

【第1日目 8月2日（木）】

13:00～13:05

開会の挨拶

熊田 博光（犬山シンポジウム代表世話人）

13:05～15:20

セッション1： B型肝炎

座 長： 林 紀夫（関西労災病院）

茶山一彰（広島大学大学院医歯薬保健学研究科 消化器・代謝内科学）

演題 1 TDF/Peg-IFN 併用療法での HBsAg 量低下に関わる因子の中間解析

田中 榮司

信州大学医学部消化器内科

演題 2 HBe 抗原陰性 B 型慢性肝炎における HBs 抗原量低下を目的とする Peg-IFN α -2a 療法の治療効果予測因子としての microRNA の検討

正木 勉

香川大学医学部消化器・神経内科

演題 3 B 型肝炎患者に対する HBs 抗原+HBc 抗原治療ワクチンの抗ウイルス効果

日浅陽一

愛媛大学大学院消化器・内分泌・代謝内科学

演題 4 B 型慢性肝疾患に対する Tenofovir alafenamide 投与の効果と安全性の検討

鈴木文孝

虎の門病院肝臓センター

演題 5 B 型慢性肝炎に対する Sequential 療法の効果と肝脂肪化の関係について

西口修平

兵庫医科大学内科学肝胆膵科

演題 6 HBV RNA の転写抑制を目的とした HBx-DDB1 結合阻害剤の探索

小池和彦

東京大学消化器内科

演題 7 HBx による肝発癌機構解明と阻害薬の開発

加藤直也

千葉大学大学院医学研究院消化器内科学

演題 8 HBV 陽性肝がん 30 年間の変遷

－発がん年齢、背景肝、抗ウイルス治療歴の検討－

狩野吉康

札幌厚生病院肝臓内科

演題 9 B 型肝炎ウイルスと肝発癌

茶山一彰

広島大学大学院医歯薬保健学研究科 消化器・代謝内科学

－ 休憩（15 分） －

15:35～17:35

セッション 2 : C 型肝炎

座 長 : 岡上 武 (大阪府済生会吹田病院)

小池和彦 (東京大学消化器内科)

演題 1 C 型肝炎ウイルス感染による腸内細菌叢異常 (Dysbiosis) と C 型肝炎病態進展へのインパクト

田中靖人

名古屋市立大学大学院医学研究科病態医科学

演題 2 リファキシミンの腸内細菌叢に対する影響

吉治仁志

奈良県立医科大学内科学第三講座

演題 3 NS5A-P32del を有する HCV 株の動態と DAA 治療の効果

持田 智

埼玉医科大学消化器内科・肝臓内科

演題 4 DCV/ASV 不成功例に対する再治療の現状
-LDV/SOF ± RBV の 2 次治療成績を中心に-
鈴木通博
川崎市立多摩病院 (聖マリアンナ医科大学)

演題 5 HCV 関連肝移植症例の DAA 治療について
中尾一彦
長崎大学病院 消化器内科

演題 6 C 型肝炎ウイルスによる発癌機序の検討
原田 大
産業医科大学第 3 内科学

演題 7 C 型肝炎ウイルス排除後の肝発癌機序
泉 並木
武蔵野赤十字病院消化器科

演題 8 DAA 治療直後肝がんの実態とその発生機序
八橋 弘
国立病院機構長崎医療センター

— 休憩 (15 分) —

17:50~18:20

特別講演：「患者さんを見て、研究をすること」

座 長：熊田博光 (虎の門病院)

演 者：小俣政男 (山梨県立病院機構 (県立中央・北病院))

18:20~18:30 写真撮影

18:30~20:00 情報交換会 (立食形式)

【第2日目 8月3日(金)】

9:00~11:50

セッション3： 肝癌

座長： 沖田 極 (周南記念病院)

金子周一 (金沢大学大学院先進予防医学研究科システム生物学)

演題1 DAAs治療SVR後の肝発癌－EOB-MRIによる非治療例との比較－

熊田 卓

大垣女子短期大学

演題2 肝腫瘍性病変の血流が腫瘍内、及び腫瘍外の肝実質細胞に及ぼす変化について

－特に Peritumoral Hyperplasia(PTH)について

中島 収

久留米大学病院臨床検査部

演題3 肝細胞癌に対する宿主免疫応答の解析と治療への応用

金子周一

金沢大学大学院先進予防医学研究科システム生物学

演題4 癌関連遺伝子変異とウイルスのヒトゲノムへの挿入からみた肝細胞癌の病態解明

朝比奈靖浩

東京医科歯科大学消化器内科・肝臓病態制御学講座

演題5 肝細胞癌の肺転移に関わる肺マクロファージの検討

中本安成

福井大学内科学(2)分野

－ 休憩 (20分) －

- 演題 6 糖代謝阻害薬 2-deoxy-D-glucose 封入 PLGA ナノ粒子を用いた肝細胞癌治療開発
日野啓輔
川崎医科大学肝胆膵内科学
- 演題 7 門脈侵襲を伴う高度進行肝細胞癌の予後改善を目指した肝動注化学療法(NFP)
鳥村拓司
久留米大学医学部内科学講座消化器内科部門
- 演題 8 バイオマーカーを用いた肝癌分子標的治療薬の治療効果予測
佐々木裕
熊本大学大学院消化器内科学
- 演題 9 血管新生阻害作用を有する分子標的薬の有害事象の発症予測とヒスチジンによる
予防効果
寺井 崇二
新潟大学大学院医歯学総合研究科消化器内科学分野
- 演題 10 Steatohepatitic Hepatocellular Carcinoma(SH-HCC)の臨床病理学的解析
徳重克年
東京女子医科大学消化器内科

11:50~12:00

閉会の挨拶

熊田 博光 (犬山シンポジウム代表世話人)